

令和元年度 評価計画及び自己評価

(計画・中間・最終)

音戸中学校区 校番 29 学校名 音戸小学校

| | | | |
|----------|--|----------------------|--|
| a 学校教育目標 | 〈小中一貫教育目標〉 ふるさとを愛し、自律できる自 児童生徒の育成 自ら学び 心豊かに たくましく 自律に向う 子供の育成 | b 経営理念 ミッション・ビジョン | 〈ミッション〉(学校の使命) 知・徳・体の基礎的な力を身に付け、学校や故郷に誇りと愛 情を持ち、感謝・貢献する児童を育む。 〈ビジョン〉(将来の学校像) 挨拶と笑顔があふれ、安心・安全な学校、児童が自信を持 ち、目標に向けて挑戦する学校、地域・家庭とつながり信頼さ れる学校を目指す。 |
|----------|--|----------------------|--|

| | |
|------------------------------|--|
| c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点 | 前年度は、主体的な学びを意識した授業改善に取り組み、学力向上に一定の成果が見られた。しかし、依然として学習意欲が低く、学習が定着しにくい児童もいる。地域学習や児童会活動等、他者と関わり合いながら、自己表現する機会を多く設定したことで、自己肯定感や郷土愛も向上した。今後さらに、自律的に行動し、新たなことに挑戦しようとする積極性が必要である。 今年度の重点 「自ら 気づき 考え 進んで行動する 音戸の子」を合い言葉に！ ① 「育成すべき資質・能力」を向上させるための、課題発見・解決学習の単元開発 ② 「学習者基点の学び」となるための、授業改善と個に応じた指導の推進 ③ 人との関わりを深め自尊感情を高める、地域学習・貢献活動及び児童会活動の充実 ④ 家庭・地域との協働による、挨拶・返事、基本的な生活習慣、家庭学習の定着 |
|------------------------------|--|

| | |
|------------|---|
| 育成すべき資質・能力 | 「知識・技能」「課題を設定する力」「情報を収集する力」「思考表現する力」「協同的に関わる力」「自己を理解し、生き方を考える力」「地域の一人として関わる力」 |
|------------|---|

| 評価計画(中期経営目標を設定してから 1・2・3年目) | | | | | 自己評価 | | | | | | |
|-----------------------------|---|--|--|--|----------------------|----------------------|---|---|--|---|--------------------------|
| 重点 | d 中期(3年間)経営目標 | e 短期(今年度)経営目標 | f 目標達成のための方策(こんなことをして達成します) | g 指標(効果を見とる目安) | h 目標値 | (9)月 | | | 2月 | | |
| | | | | | | i 達成値 | j 達成度 | k 評価 | i 達成値 | j 達成度 | k 評価 |
| | | | | | | *** | 確かな学力 (知) 「前より賢くなった！友達と学び合うことが楽しい」といえる児童の育成 | ①児童が主体的に課題解決に取り組む授業づくりを進める。 ②家庭学習の定着と、個に応じた指導により、学習意欲の向上を図る。 | ○年間1回以上、全員授業研究(授業改善) ○課題発見・解決学習の単元開発を一人1単元以上 ○学期1回以上、資質・能力のルーブリック評価を行う単元を組む。 ○自主学習の個別指導 ○週末読書の推進 | ○単元末テスト通過率(低80・中75・高70) ○教職員・児童のルーブリック評価カードB評価以上 ○家庭学習の定着率 ○学年の目標ページ | 80 75 70 80 |
| ** | 豊かな心 (徳) 「友達大好き・自分大好き・音戸大好き」な児童の育成 | ③自他のよさを認め合い、自尊感情、自己有用感を向上させる。 ④ふるさとを大切に思い、感謝・貢献する意識を醸成する。 | ○互いのよさを認め合う場の設定 ○児童会活動、学級活動等の充実を図る。 ○道徳科の授業で「郷土愛」学年2回以上実施 ○地域学習や貢献活動を学年3回以上実施 | ○自分自慢大会に出場した児童の割合 ○「親切さんありがとう」を推薦した児童の割合 ○児童意識調査(自尊感情、自己有用感に関わって) ○ふるさと自慢できる児童の割合 | 80 80 80 80 | 85 38 94 96 | 106 47 117 120 | A D A A | 97 58 96 96 | 121 72.5 115 120 | A C A A |
| * | 健やかな心身 (体) 「運動大好き・給食大好き・早寝早起き音戸っ子」の育成 | ⑤基本的な生活習慣の確立を図る。 ⑥児童の運動意欲を高め、体力づくりを推進する。 | ○「げんきっずカード」による取組み(メディア・早寝・早起き・朝ご飯・歯磨き) ○走力を伸ばす取組(ダッシュリレー月1回以上・3分間走等) ○跳躍力を伸ばす取組(ラダートレーニング・長縄等) ○くれチャレンジマッチスタジアムへの積極的な参加 | ○5項目を70%以上達成できた児童の割合 ○50m走の記録が全国平均を上回る児童の割合 ○立ち幅跳びの記録が全国平均を上回る児童の割合 | 80 70 70 | 89 57 35 | 111 81 50 | A B D | 94 65 63 | 118 93 90 | A B B |
| 業務改善 | 教職員が自らの意欲と能力を発揮し、健康でやりがいを持って働くことができる教育環境の整備 | 児童と向き合う時間の確保 | 会議回数の削減 | 児童と向きあう時間が確保されていると感じる教員の割合 | 80 | 55 | 69 | C | 70 | 87.5 | B |
| | | | 短縮日課による、放課後時間の確保 | | | | | | | | |
| | | | 長時間労働の縮減 | | | | | | | | |

【k:評価】
 A:100≦(目標達成) B:80≦(ほぼ達成)<100
 C:60≦(もう少し)<80 D:(できていない)<60